

「かるた」で広げる東松山の歴史

東松山は文化財の宝庫です

この「かるた」を片手に郷土の歴史を訪ねてみませんか



浅黄
勝

菊間
高雄

田代秀一郎
(L)

木沢
健治
(SL)

利根川
菊枝

庄司
年子

黒澤
美枝子

芝崎
良一

桜井
ヒサ

亀山
信

きらめき市民大学 11期 郷土学部 A班

目 次

表紙、目次

I. 郷土学部 A 班活動記録

II. 課題研究テーマの選定理由

III. 課題研究活動の進め方

IV. 課題研究活動の経過

V. 郷土かるた MAP

VI. 「郷土かるた」

VII. 活動を振り返って

VIII. まとめ



高坂 市民の森

I. 郷土学部 A 班活動記録

NO	月 日	学習内容	場所
1	1月 09日	事務局より課題研究の進め方の説明 午後 HR で検討	きらめき市民大学
2	1月 23日	グループ、リーダーの決定、A: 田代 B:山崎	きらめき市民大学
3	2月 26日	金谷道を歩き調査、検討	松山地区
4	3月 08日	課題テーマの検討(古道、街道の研究など・・・)	きらめき市民大学
5	3月 22日	高坂地区、岩殿観音近辺を歩行にて調査、検討	高坂地区岩殿観音
6	4月 12日	今後の日程決定、課題研究テーマの検討、打合せ	きらめき市民大学
7	5月 10日	課題テーマの検討、道の研究は断念、「郷土かるた」に決定	きらめき市民大学
8	5月 24日	課題の進め方の検討、テーマの内容の検討	きらめき市民大学
9	5月 29日	青鳥城～將軍塚古墳～市埋蔵文化財センター歩行、調査	野本地区
10	6月 14日	「かるた」のまとめ方の検討	きらめき市民大学
11	6月 17日	「かるた」のまとめ方の検討	きらめき市民大学
12	6月 19日	諏訪山古墳～世明寿寺～七清水、歩行、調査	高坂地区
13	6月 28日	「かるた」のまとめ方の検討、分担の決定	きらめき市民大学
14	7月 10日	「かるた」のまとめ方の検討	きらめき市民大学
15	7月 26日	「かるた」の仕分け、課題テーマ、MAP の検討	きらめき市民大学
16	7月 31日	浄空院、妙昌寺など、唐子地区を歩き、調査	唐子地区
17	8月 08日	「かるた」の仕分け、課題テーマ、MAP の検討	きらめき市民大学
18	8月 19日	「かるた」の仕分け,47 かるたの仮決定、次回追加修正	きらめき市民大学
19	8月 22日	「かるた」の修正、47 かるたの決定、まとめ方の説明	きらめき市民大学
20	9月 04日	「かるた」の説明文章の検討、修正	きらめき市民大学
21	9月 13日	「かるた」の読み札、絵札、説明文章の説明、修正	きらめき市民大学
22	9月 25日	課題研究感想文の検討、学園祭学部紹介展示内容検討	きらめき市民大学
23	10月 04日	課題研究感想文の検討、学園祭学部紹介展示内容検討	きらめき市民大学
24	10月 23日	課題研究のまとめ、原稿の校正作業	きらめき市民大学
25	10月 25日	課題研究のまとめ、原稿の校正作業	きらめき市民大学
26	11月 06日	課題研究のまとめ、原稿の校正作業	きらめき市民大学
27	11月 13日	課題研究のまとめ、原稿の最終確認	きらめき市民大学
28	11月 20日	原稿の印刷、最終確認、提出	きらめき市民大学
29			
30			
31			

II. 課題研究テーマの選定理由

私達は郷土の歴史を学ぼうと、東松山市きらめき市民大学郷土学部に入學しました。そして、一年が経ち、東松山には後世に残したい多くの文化財、歴史的資源があることを知りました。東松山市の歴史的資源の特徴は、歴史の幅が広く、縄文時代から近代まで各時代を代表する、すばらしい歴史遺産があることです。しかし、市民の歴史遺産に対する感覚は、松山には“何もねえーや!!”と「松山人の松山知らず」です。

私達もこの歳になって、やっと郷土の歴史に関心を持ち始めました。そこで私達は多くの市民の皆さんが、そして子供達が郷土の歴史的資源を知るきっかけとなり、後世に伝わる一助になればと願って、東松山市の主要な史跡、文化財を見て廻り、史跡、文化財ごとにその概要、歴史、感じた事を「かるた」にまとめて見ることにしました。

III. 課題研究活動の進め方

- ① 班全員で楽しく調べ上げ、各自考えを述べて集約し、全員で内容を修正しながら読み札の言葉を絞り込み、決定しながら前に進む。必ず議事録は残すこととする。
- ② 日本文化の「いろは、48文字の、かるた」にこだわる。
- ③ 東松山市内全域の、歴史、史跡、文化財、自然を対象とする。
- ④ 子供達にも解り易いように、平易で、やさしく興味の湧く「かるた」をつくる。
- ⑤ 市内を5地区（松山、高坂、野本、唐子、大谷）に分け、全員で地区毎に現地へ赴き、各自良く観察し、記録し「かるた」を詠む。写真は出来るだけ限なく撮る。
- ⑥ 郷土学部での授業の成果が感じられるもの。
- ⑦ 絵札と読み札には分けず、一つにまとめ、絵札は写真とする。
- ⑧ 課題研究の時間は、授業の中に組み込まれた時間だけでは不足すると思われるので、全員調整、了解の上登校日以外でも時間を設ける。
- ⑨ 願わくは、研究の成果が第三者の閲覧、参考となりうるもの。
- ⑩ グループ内での良き親睦を図ること。

IV. 課題研究活動の経過

- ① 課題研究テーマの選定には、当初「古道、街道の研究」について活動を進めて見ようと始めてみましたが、皆が参加するにはレベルが高く、また現地調査するにも難しく、断念することになりました。それに変わって、比較的やさしく、皆が参加し易い「郷土かるた」の作成に決定しました。
- ② 「比企郷土かるた」が既に出来ていますが、これは比企地方全般にわたって作られており、もっと身近な東松山市全域にわたって、「かるた」を作ってみても良いのではないかと、という意見が皆から出ました。
- ③ 各地区の調査対象をどこにするのが良いか迷いましたが、東松山市発行の「東松山市ふるさと自然の道」ウォーキングマップに示してある、歴史、史跡、自

然などを参考にしました。

- ④ 現地に調査に行く前に、予備知識を吸収する為に「東松山市の文化財マップ」、「東松山市ふるさと自然のみち」、「東松山の地名と歴史」、「過去の課題研究資料」などの資料を調べ知識を得ました。
- ⑤ 高坂地区の調査では、地元の郷土歴史家であ



る千代田氏にガイドを依頼し大変参考になりました。特に世明寿寺、青蓮寺、七清水等について・・・



- ⑥ 現地に赴き、調査対象物を良く観察し「かるた」に詠むのは、そう簡単ではなく、皆で家に持ち帰って「かるた」を作ることになり、大変苦勞しました。各地区ごとに皆の「かるた」を集めて

みますと、非常に個性的で、感動する「かるた」も沢山ありました。

- ⑦ 現地調査が進むにつれて、その史跡などに興味をもち始め、さらに奥深く調べる様になり、まとめる段階では激論が交わされることが度々生じ、結果的に質の良い、「かるた」を作ることができました。
- ⑧ 各地区で詠んだ、各人の、「かるた」を集めて（全部で142首）、いろは～毎に分類し、いろは～毎に皆で優先順位を決めました。その優先1位の、「かるた」を基本に47かるたを仮に作りました。



いろは～に当てはまる「かるた」がない場合は、新規に、「かるた」を作り補填しましたが、分類が非常に大変で、分類板上で、試行錯誤し何とか出来ました。



V.

東松山市かるた MAP



いろは「かるた」MAP 一覧

史跡名と Map 番号			史跡名と Map 番号			史跡名と Map 番号		
い	松山城跡	8	れ	宮鼻八幡神社	27	こ	御霊神社	41
ろ	丸木美術館	38	そ	宗悟寺	23	え	島田橋	31
は	俱利伽羅不動尊	2	つ	松山の天王様	*2	て	おため池	9
に	吉見百穴	7	ね	岩殿観音大銀杏	33	あ	箭弓稻荷神社	1
ほ	東松山ぼたん園	19	な	高坂七清水	30	さ	浄空院	39
へ	獅子舞	*1	ら	雷電山古墳	20	き	比企一族	*3
と	青蓮寺	28	む	無量寿寺	14	ゆ	上岡観音	21
ち	彫刻のある通り	25	う	上田朝直建立青石塔婆	43	め	八雲神社	4
り	等覚院	13	み	水神塔	40	み	妙昌寺	35
ぬ	東松山 夢灯路	5	の	光福寺	22	し	物見山	32
る	永福寺	18	お	虎御石	10	ゑ	八王子道標	26
を	青鳥城跡	11	く	鞍掛橋	36	ひ	おくま山古墳	12
わ	松山陣屋跡	3	や	将軍塚古墳	15	も	金谷の餅つき踊り	6
か	鎌倉街道址の碑	42	ま	埋蔵文化財センター	16	せ	世明寿寺	29
よ	三角縁神獣鏡	17	け	諏訪山古墳	24	す	スリーデーマーチ	*4
た	おとうか橋	37	ふ	正法寺参道	34			

*下記に、いろは「かるた」、「へ、つ、き、す」の場所、時期等の概略説明

*1 獅子舞

地区	会場	開催日
野田	赤城神社	7/14,10/14 に近い日曜日
上唐子	上唐子氷川神社	7/23,24 に近い土・日曜日
神戸	神戸神社	7/24,25 に近い土・日曜日
下唐子	唐子神社	7/27,10/19 に近い日曜日
上野本	上野本八幡神社	10/15 に近い日曜日
西本宿	富士浅間神社	10月の最終週土・日曜日

*2 松山の天王様

八雲神社の例大祭で、会場：東松山中心市街地、東松山市材木町 19-30（本部）
開催時期：7月第4土・日曜日

*3 比企一族

「甦る比企一族」として、あまり知られていない比企氏の研究が最近盛んに行われ様になり、観光地としても力を入れるようになった。ゆかりの地としては、宗悟寺 比丘尼山、串引沼（大谷地区）、正法寺、判官塚（高坂）、泉福寺（滑川）、金剛寺（川島）等があります。

*4 スリーデーマーチ

毎年11月の1週の3日間、松山小学校がメイン会場となり5~50kのコースを歩く。

VI. 「郷土かるた」

幾たびの 合戦に明け暮れし 松山城



い

松山城跡

諸説があるが、15世紀後半に築城された。上杉と北条の攻防戦で川越城と共に常に戦乱の中にあった城。北武蔵屈指の堅城で、平成20年菅谷館跡、杉山、小倉城跡を含め比企城館跡群の一つとして国の史跡に指定された。

ローソクの灯 永久に伝えよ丸木美術館



ろ

丸木美術館

東松山市から世界中に原爆の悲惨さを伝える美術館。故丸木夫妻が「原爆の図」として描いた広島原爆被害の絵を始め、様々な絵を展示しています。見る人の胸を打ち、人間の愛へのメッセージが伝わって来ます。

は

迫力に思わず息呑む
俱利伽羅不動尊



俱利伽羅不動尊

東松山スイミングクラブの南にある不動沼の辺のお堂に、水神として安置されている。クリカラとはインドの伝承で黒褐色の竜王で不動明王の化身と言われている。写真より本物の方がはるかに迫力があります。必見です

人気のスポット百穴は
横穴墓群の遺跡です



に

吉見百穴

古墳時代後期に造られた横穴墓群。現在219個の横穴が確認されている。大正12年(1923)に国の史跡に指定されました。1部の穴にヒカリゴケが自生しており、国の天然記念物に指定されています。また旧中島飛行機、地下軍需工場跡もあります。

牡丹咲く市民が憩う 野田ぼたん園



東松山ぼたん園

正式名称は「東松山ぼたん園」、市の花「ぼたん」の普及活動の一環として、平成2年に開園した日本一のぼたん園です。300種以上で9,100株のぼたんが3万㎡の園内に咲き誇ります。

変幻自在の獅子舞は
五穀豊穡の祈りなり



獅子舞

東松山市は、県内でも有数の獅子舞の数が多い地域と言われています。獅子舞には五穀豊穡を祈願・感謝したり、地域の悪病退治や雨乞いなどの意味があり、地域毎に特色があります。野田、上唐子、神戸、下唐子、上野本、西本宿の地区で行われています。

遠く肥後の国へと移りし同胞を
今なお祈る青蓮寺



青蓮寺（弘安四年銘板石塔婆）

弘安四年（1281年）蒙古襲来時に建てられた板石塔婆。高さ2m以上あり、堂々とした姿で県の史跡に指定されています。銘文には、小代氏四代目の重俊の仁徳を慕って建立したと刻まれています。

彫刻を眺めて散策 駅前通り



彫刻のある通り

昭和57年、彫刻家の高田博厚氏が当市で彫刻展と講演を行ったことが縁となり、昭和61年に高坂駅西口区画整理事業で、市街地環境を整備した際、まちづくりのシンボルとして設置されました。

凛々しくも 座るお姿 阿弥陀様



等覚院（木造阿弥陀如来坐像）

ヒノキ材寄木造、漆箔の坐像。県内でも屈指の優品で、市を代表する古仏の一つ。胎内に書かれた銘から鎌倉時代中期の建長 5(1253)年に、仏師定性によって修理されたことがわかっています。像高 87.4cm

沼のほとり 静かにゆらぐ 夢灯路



東松山 夢灯路

上沼、下沼公園には、公園の中心にある沼を囲むように桜が植えられています。開花期間中には桜のライトアップが行われ、夜桜見物を楽しむことができ、両公園や沿道を灯籠の明かりで結ぶ「東松山夢灯路」が開催されます。

ルールは守ろう 昔も今も
永福寺の制札は語る



永福寺（制札）

天文 22（1553）年、松山城主上田氏より与えられた制札。戦国時代の文章の現物としては市内最古。永福寺を保護する三ヶ条の決まり事が書かれています。天文 22（1553）年の銘があります。

青鳥城 偲ぶ土塁の上に立つ



青鳥城跡

築城の年代は不明であるが、文明 12（1478）年に扇谷上杉・太田道灌が在陣したと言う記述があります。城郭として整備されのは室町時代から戦国時代にかけて。城内には戦国時代の板碑や土橋の跡、物見櫓の跡、土塁などが残っています。

わが町の 歴史を語る 松山陣屋



松山陣屋跡

慶応3年(1867)川越藩主松平直克が前橋転封により、飛び地となる比企郡を中心とした領地、6万石余を支配する為に建てられた陣屋。わずか5年で廃藩置県を迎え、その役目を終えました。

鎌倉古道を連想させる
街道の碑



鎌倉街道址の碑

この碑には昔「鎌倉街道」であったと説明が記されている。高坂丘陵開発によって郷土が変わる中、昭和59年4月10日に地元の人達で、変わる郷土の記念碑として、後世に伝える為建立しました。(田木、熊谷、妻沼、太田～群馬新田～足利)

よくここまで修復できた 三角縁神獸鏡



三角縁神獸鏡

東松山市の高坂古墳群(4~7世紀築造)から平成23年10月半ばに、三角縁神獸鏡が発見されました。同鏡は、近畿を中心に全国の古墳から多数見つかっていますが、県内では初めての発見です。何枚かにわかれていた物を復元しました。

保の通った おとうか橋は
天の園の舞台なり



おとうか橋

打木村治の郷土児童文学「天の園」に、保少年と共に登場します。都幾川の冠水橋と呼ばれ、地元では稲荷橋を音読みして、おとうか橋とも呼ばれています。

歴史ある 七百年の大樫

れ



宗悟寺は比企氏ゆかりの地
森川氏の菩提寺なり

そ



宮鼻八幡神社

御社名は八幡神社、御祭神は応神天皇 56 代清和天皇、貞観年間の御創立と伝えられる。御末社は稲荷神社・天満神社・八坂神社・日枝神社・御嶽神社を合祀しています。境内には樹齢 700 年の大樫があり、市指定の天然記念物で幹周り約 7.8m、樹高 8m もあります。

宗悟寺

鎌倉時代二代将軍、源頼家の妻、若狭の局が夫の亡き後、当地大谷に逃れ、比丘尼山に大谷寿昌寺というお寺を建て、夫の菩提を弔いました。江戸時代になりこの領地を支配した森川金衛門氏俊が寿昌寺を中興し、今の地に移し宗悟寺としました。

つぎつぎと 山車をくりだす
松山の天王様

っ



根元から見上げる 岩殿観音大銀杏

ね



松山の天王様

八雲神社の例大祭で神輿の渡御や山車の巡行が行われ、沿道には夜店が建ち並び、近隣から多くの人々が見物に集まる活気あふれるお祭りです。

岩殿観音大銀杏

坂東三十三観音の十番札所である、岩殿観音（正法寺）の本堂の横にある大イチョウ。幹周りは約 11m であり、近くから見ると圧巻、根も発達しています。樹齢 700 年

七清水 八坂もあるよ 高坂地区



高坂七清水

昔から湧き水と坂の多いことで知られる地区。台地と水田の境目に沿って点在する。清水をめぐるウォーキングコースが設定されています。

雷電山古墳 県内最古の埴輪出る



雷電山古墳

大谷地区の丘陵にある5世紀初頭の古墳。円筒・朝顔形・筒型埴輪3点。県内最古の埴輪が出土されました。墳頂には大雷神社があります。絵馬、三千塚古墳群、相撲場などの史跡も残っています。

無量寿寺 歴史ある野本氏館跡



無量寿寺

鎌倉時代の野本氏一族、野本基員を初代とする館跡。将軍塚古墳に隣接している。南側の低地に接する微高地であった。二重の土塁と空堀をもつ。それは当初からのものではなく、後世の増築によるものです。

上田氏の 石碑が残る 清正公



上田朝直建立青石塔婆

戦国の世を生き抜いた名将、松山城主の上田朝直が、元亀2（1571）年に、一族や家臣の冥福を祈って建立した供養塔。

高さ273cm、幅61cm、厚さ9cm、朝直は天正（1582年）90歳の高齢で他界。

（日蓮宗の大檀家で、清正も同じ）

筏組む
いにしえ思う
水神塔



水神塔

かつて、都幾川・槻川筋の山々から伐り出された木材は月田橋付で筏に組まれて、江戸深川へ運ばれました。安全祈願の水神塔の側面に 17 村 48 名が刻まれています。

のぞき観る 嚴重なるや 宝篋印塔



光福寺（宝篋印塔）

光福寺に有り、元亨 3(1323)年に紗彌閣阿が、比丘尼妙明と藤原光貞の供養の為に造ったものです。国指定の為収蔵庫に保存されており、高さは約 2.1m です。鎌倉後期を代表する均整の取れた塔です。仏教の建造物の一種で「宝篋印陀羅尼經」を納めた供養塔のことです。

青鳥で 頼朝が遊ぶ 虎御石



虎御石

青鳥城跡の東端おため池の辺に建つ、市指定の虎御石は応安 2 (1369) 年の銘があります。高さ 375 c m で、比企・入間地方最大の板碑で、昔この地を源頼朝が立ち寄ったとの説があります。

鞍掛の 新田義貞 今も水清し



鞍掛橋

鞍掛橋は、都幾川に架かる冠水橋。武将新田義貞が馬を下りて鞍を掛けて休んだことからこの名が付いたとの事です。今も清流で泳いだり、周りではバーベキュー等が出来ます。

社建つ 将軍塚は 未知の山



松山の ルーツが眠る
埋蔵文化財センター



将軍塚古墳

5世紀後半から6世紀前半の築造と推定されます。大型前方後円墳。全長115m、高さ：後円部15m、前方部8m、県内第2位の大きさですが、今だ発掘調査されず、築造年代不明で、墳頂に藤原利仁将軍を祀った利仁神社があります。

埋蔵文化財センター

東松山市の埋蔵文化財発掘調査で出土した、土器や石器などの遺物を収集、保管、整理し公開する為に開設された施設です。また開放廊下からは整理作業なども見学出来ます。

県内最古の 前方後円墳 諏訪山古墳



振り返り 屋号が語る 門前町



諏訪山古墳

諏訪山古墳は、高坂台地北端にある諏訪山古墳群の一基で、築造年5世紀後半～6世紀前半、墳長61m、後円高5.8m、前方高2.8mの規模を有する県内で最も古い、前方後円墳の一つです。(写真は富士浅間神社)

正法寺参道

正法寺(岩殿観音)は、鎌倉時代にすでに坂東10番札所となっている名刹です。古来より信仰を集め、門前市をなし、賑わった。かつての門前町をしのばせる家並み(屋号)がその面影を残しています。

御霊神社の大榎 義平殿の 神木なり



御霊神社

御霊神社は、正代、高坂台地の東端に位置し、武蔵の国を平定した源義平の霊を、小代行平が祀ったといわれています。樹齢約 300 年、幹周り約 3m、樹高約 23m 超のケヤキは、市内一の高さを誇る赤ケヤキともいわれています。

江戸街道 越辺の渡し 島田橋



島田橋

島田橋は、宮鼻と坂戸市島田の間に架かる、越辺川上の冠水橋です。しかし、明治時代初期頃までは島田の渡しといわれた、渡し船による連絡でした。明治初期頃に木製の橋が架けられ、越辺川両岸間の連絡が容易になりました。

伝説を 塔婆が見守る おため池



おため池

青鳥城、二の郭内の東に「おため池」があります。この池は内堀の名残りであるが、今ではシラカシ、クリ、コナラ、カラムシなどの植物に囲まれて静かに往時の姿を伝えています。池のほとりに比企郡・入間郡では最大の板石塔婆である「虎御石」があります。

明け空に 白雲飛び行く 箭弓様



箭弓稲荷神社

祀神：保食神。創建は和銅 5 年（712 年）。平忠常の乱時、源頼信が戦勝祈願した所、明空に矢（箭）の形をした白雲が敵方に飛び勝利を確信&勝利しました。野久稲荷を箭弓稲荷と改名。以来松山城主、川越城主を初めとして多くの人達の信仰を集めて来ました。県指定文化財：社殿、棟札

座禅して 風を感じる 浄空院



浄空院

この寺は三河の豪族、菅沼定吉が徳川家康とともに関東に来た後に、江戸との交通に便利な唐子を領地の中核として、文禄2年に開山しました。市の指定文化財になっている本堂、禅堂は規模も大きく見ごたえがあります。境内に菅沼氏一族の24の墓があり、威光が偲べれます。庫裏は自由見学、座禅も可能

郷土に ゆかりの名を残す 比企一族



比企一族

源頼朝の乳母である、比企禅尼は、伊豆に流された頼朝を積極的に援助しました。その関係で比企氏は鎌倉幕府で北条氏と並ぶ勢力であったが、北条時政の陰謀により、「比企の乱」で滅亡させられました。比企郡の宗悟寺、正法寺、比丘尼山、串引沼、滑川町泉福寺、川島町金剛寺等に所縁の名を残しています。

有名な 上岡観音絵馬市は
五穀豊穰もたらすよ



上岡観音

馬頭観音として関東随一の霊場。例大祭で絵馬市が立ち、馬の守り観音として信仰されています。現在、馬を飼う人が少なく往時の面影は少ないが、絵馬市は、国の選択無形民俗文化財に指定されています。

珍しい 八雲神社の彫刻は
夏祭りには 踊りだす



八雲神社

旧松山宿の総鎮守として創設され氷川神社(後に松山神社と改名)の末社。安政6年(1859)4月に建立、単層切妻造りの近世期社殿建築である。装飾彫刻を良好に残しています。

妙昌寺 板石塔婆も映える 百日紅



妙昌寺

唐子地区神戸にある日蓮宗の寺で、山号は青鳥山。弘安4年(1281)日仙の開山により創建されたと伝えられています。板石塔婆は県指定、妙昌寺日蓮上人祖師、板石塔婆、瓦塔は、市指定の文化財です。

新緑に つつじ咲き誇る 物見山



物見山

古くは、坂上田村麻呂が悪龍退治の時、見晴台にしたと言われています。4万本のツツジの名所として有名です。低い割には眺めが良く公園になっており、展望台もありました。近くには平和資料館、市民の森等があります。

江戸時代
巡礼信仰示す
八王子道標



八王子道標

高坂地区高坂旧道に面して建てられています。この道標は、高坂宿の住人が、百観音札所巡礼を成就できたことに感謝し、巡礼での恩に報いるとともに、往来の利便性も考えて建立したものです。右 日光 左 ちちぶ

ひょっこりと畑に顔出すおくまやま古墳



おくま山古墳

野本地区、古凍、柏崎古墳群のほぼ中央にあります。野本將軍塚などと並ぶ東松山市の有名な古墳の一つです。墳頂には熊野神社が祀られています。形状は、全長 62mの帆立貝形の前方後円墳で、出土品から5世紀末の築造ではないかと言われています。

餅つきを手拍子揃えて踊りだす
氷川神社の秋祭り



金谷の餅つき踊り

市内上野本金谷の氷川神社で五穀豊穡を祈念して行われ、県指定の無形民俗文化財です。昔、岩殿山に住む、悪竜を退治した坂上田村麻呂に感謝して喜びのあまり踊りながら「もち」をついて、もてなしたのが始まりです。

世明寿寺 巡礼道の道しるべ



世明寿寺

宗派は曹洞宗、道元禅師が開いたお寺です。中には市内最古の千手観音があります。二十八部衆は千手観音の待者で、二十八体全部と風神、雷神が完全に揃っています。14世紀半ば、即ち南北朝時代の作と推定されます。市指定の文化財です。

スリーデーマーチ皆で歩こう郷土の道



スリーデーマーチ

さわやかな空の下、毎年11月に3日間、東松山市で開催され、比企丘陵に繰り広げられる、日本最大の国際ウォーキング大会です。この大会は昭和53年(1978)に群馬県新町(現、高崎市)で産声をあげました。その後、第3回大会から東松山市で開催されるようになりました。



京都嵐山にちなんで
嵐山溪谷

VII. 活動を振り返って

- A. 東松山の色々な所へも出かけましたが、何のテーマが良いのか、グループの皆さんと話し合いが始まりました。とにかく現地に行く事から始まり、「かるた」にまとめる事となり、それぞれの思いを短い文で表現しました。何度も行ったところ、初めてのところ、皆さんと協力し、一緒に楽しく課題を達成できたことです。
- B. 私は20年も高坂に住んでいるのですが、知らないことが多く、課題研究で学友と現地へ行き、自分の目で視ると共に、諸資料を調べ、過去から現在に至る変遷を知る良い機会となりました。また、独学では得られない学校の有難さと交友の広がりを楽しみました。そして、私たちが地元に着愛を持ち、地域の共有の財産を守り、子供たちに伝えていくことが大切だと痛感しました。
- C. 10年間の郷土学部の課題研究の内容を調べてみますと、東松山地域の歴史、史跡等は大方調べ上げられており、こんな中で、私は課題のテーマを考えるには大変迷いました。皆が参加出来るテーマと言うことで、「郷土かるた」の作成に決まり、ほっとしました。現地を歩いてみて、まだ知らない事、曖昧なこと等が沢山ありました。切り口を変えて調べれば、まだまだテーマがあるかもしれません。今回の活動でグループの皆さんとの知識レベルも横一線になり、親睦も図られて、大変楽しい課題研究活動だったと思います。
- D. 東松山の文化財の標識を見て気になり乍ら、一人では確かめに行けなかった場所を皆さんと訪ねる事が出来、実に楽しい時間を過ごさせて頂きました。そして皆さんの博識と自分の無知さとの再確認の時でも有りましたが、これで作った「かるた」と体験は、一生の宝物となります。皆さんお世話になりました。
- E. 東松山に引越して約25年、家と会社の往復の繰返しで、東松山の事はほとんど知りませんでした。今回、東松山の歴史を勉強し、東松山をかいま見る事が出来、また、一人では行けない所や見る事の出来ない仏像等を見る事が出来て良かったです。何も知らない、何も出来ない私に案内して頂いた人やご指導して頂いた班員の皆さんに感謝しています。
- F. 「へびでそう、古墳めぐりは、冬がいい」これは蚊が飛び、生い茂った雑草を掻き分けて、何もない諏訪山古墳に行った時、私が作った自信作です。でも不採用でした。今回の「かるた」はメンバーの英知の結晶です。この中の一つでも二つでも、ポスターにして市役所や公共施設に貼って頂き、子供達が文化財に関心を持って貰えれば嬉しいです。
- G. Kさん、書記をお願いします。と突然言われて不安一杯の課題研究がスタートしました。テーマは東松山の旧道めぐりです。しかし途中で「かるた」に変更になりました。全員で文化財をテーマに「かるた」を作り、沢山の候補作品が出来ました。今回東松山にも数多くの立派な文化財が有ることを知り、いずれ「かるた」を片手にゆっくり回ってみたいと考えています。
- H. まずは市内の見学に行くことになりました。今迄に聞いたところ、見たところ

(写真等)でも、実際に現場へ行ってみると想っていたより迫力があつたり(倶利伽羅不動尊)、藪の中だったり、途中の会話など、皆さんと楽しく経験できました。本当にありがとうございました。

- I. 郷土学部 A 班 10 名で 3 月より課題研究がスタートしました。皆でスタイルを決め「かるた」で学ぶ地域・郷土の歴史と決めました。学んで視ると市内にも数多くの貴重な建物・文化遺産・伝説・史跡・名所、旧跡などに会い、「東松山郷土かるた」ができました。子供も大人も楽しく学習し、小・中学校でも「かるた」を参考にして郷土の歴史に関心を持って頂きたいと想います。私も大変勉強になりました。

VIII. まとめ

東松山地区には古くから人が住みつき、太古からの遺跡が各地に残されています。我々は郷土学部と言うことで、これらの遺跡を調査すると共に、これらを郷土の人たちに広く知ってもらいたいと思ひ、活動することにしました。松山を広く網羅する為に、松山、高坂、野本、唐子、大谷地区に大別し、各地区を原則徒歩で調査しました。実際歩くと現在の車社会では決して気が付かない小さな石仏、道路標石が残されており、往時が偲べれます。調査して気付くことは、ある程度の開発→破壊は仕方がないが、これからの人口減少社会を考えると、これらの残された貴重な遺産をなるべく残しながら、調和のとれた社会を目指すべきではないかと思ひます。これからの事は若い先短い我々には困難と感じられ、これからの事は若い人達に託したいと思ひます。特に子供達には郷土の歴史に興味を持ち、それを知り、郷土に誇りを持つ事により、真の国際人になれると思ひます。それで、特に子供達が興味を持てる様「かるた」形式でまとめる事にしましたが、我々の勉強不足で十分とは言えないものになりました。後事は次期の郷土学部の皆さんにお願いして、我々の課題研究を終えたいと思ひます。グループの皆さんのご協力も得られ、また親睦も図られ楽しい課題研究活動でした。

○参考資料

- ☆東松山市の文化財マップ・・・東松山市教育委員会
- ☆東松山市ふるさと自然のみち・・・東松山市ウォーキングセンター
- ☆東松山市の地名と歴史・・・著者：岡田 潔(東松山市文化財保護委員副委員長)
- ☆埼玉ふるさと散歩、比企丘陵編・・・著者：梅沢太久夫
- ☆東松山市ホームページ、インターネット
- ☆三角縁神獣鏡、世明寿寺千手観音の写真・・・東松山市教育委員会

○ご指導、ご協力を頂いた方

- ☆千代田恒之氏(郷土歴史家)
- ☆西村裕氏(東松山市観光ボランティアガイド)